

競技方法

競技規則 2026度日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び本大会規則による大会期間中及び試合中に熱中症特別警戒アラート等が発表され熱中症による選手等の健康に重大な被害が生じると判断した場合は大会の中止・試合を中断する。

試合球 検定 11 インチ球(ナガセケンコー)とし、主催者側で準備します。

- 試合方法
- ①予選はリンク戦とする。各ブロックの代表決定方法として、勝率が同率の場合(1)勝ち点(2)失点数(3)選手9人による抽選の順とする。
 - ※勝ち3点 引き分け1点 負け0点
 - ※予選リンク戦の試合時間は60分、決勝トーナメントは70分とする。
 - ※予選リンク戦は55分、決勝トーナメント戦は65分を過ぎて新しいイニングに入らない。
 - ※決勝トーナメント戦の延長は、7回終了時に1試合の時間内であればタイブレークを1回のみ行う。勝敗が見つからない場合は抽選とする。ただし決勝戦のみ7回または70分終了時同点の場合は最大2回までタイブレークを採用し、タイブレークで勝敗が見つからない場合は、両チーム優勝とする。
 - ②試合開始時間30分前または前の試合3回終了時まで各コートにオーダー表を提出すること。
 - ③ベンチは、若番が1塁側、攻守はコイントスで決定する。
 - ④ホームランラインを本塁上から50mに設置する。
 - ※フェアボールが地面に触れて、バウンドしたり転がってラインを超えた場合はスリーベースとする、送球間で抜けた場合はテイク2とする。
 - ⑤3回15点、4回10点、5回以降7点以上生じた場合は、「得点差コールドゲーム」を適用する。
 - ※予選リンク戦は55分、決勝トーナメント戦は65分を過ぎて先攻チームが10点以上リードして攻撃している場合は、攻守を交代して最終回とする。
 - ⑥熱中症対策として、1 イニング 10 点以上入った時点で攻守を交代する。
 - ⑦2イニング毎もしくは20分毎で3分間の給水タイムを取ります。
 - ※試合時間は中断します。
 - ⑨打者、走者、次打者、ベースコーチは、ヘルメットを着用すること。
捕手は、捕手用ヘルメット・スロットガード付マスクを着用すること。
 - ⑩予選リンク戦の公式審判員は主審のみ、塁審については各チームで帯同審判をお願いします。(組合せ表をご覧ください)
 - ⑪決勝トーナメント戦の抽選会は、20日(日)7時30分から河川敷グラウンド第1コートで行います。